

災害時に備えて

テントなど寄贈

瀬戸北RC、市社協へ

瀬戸市の瀬戸北ロータリークラブ（RC）が二十九日、市社会福祉協議会に、災害救援備品を贈った。

同RCは二〇一五年から毎年、災害時に全国からのボランティアを受け入れる拠点「災害ボランティアセンター」の役割を担う同協議会に災害備品などを寄贈している。

加藤事務局長（左）に目録を渡した加藤会長（瀬戸市川端町で



今回贈ったのは大人四人ほどで簡単に組み立てることができる幅六尺、奥行き

三尺のテントや大判カラー複合機など。この日同市川端町の市福祉保健センターであった贈呈式では同RCの加藤庄平会長が同協議会の加藤孝介事務局長に目録を贈呈した。

加藤会長は「異常気象などで災害が身近になり、ますます訓練が重要になってきているので、活用してほしい」と期待。加藤事務局長は「もしもの時に力を発揮できるよう、訓練を重ねていきたい」と話した。